

一般質問  
林道楮佐古小松曾線の  
の早期維持修繕を



三谷幸一郎 議員

**問** 長期通行止めは林業、観光振興  
両面に弊害をもたらしており早  
急に維持修繕を

**答** 住民に最も身近な社会資本の整  
備を基本として検討する

本町から香美市へ行く  
林道楮佐古小松曾線を経  
由し、豊永峠を通るルー  
トと、林道川又線、町道  
谷相線を経由し松尾越峠  
を通るルートがあるが、  
残念ながらこの2ルート  
とも路面が劣悪で長期に  
わたって通行止めとなっ  
ている。

この両線は地域産業と  
しての林業を再生する要  
の道路でもある。加えて  
豊永峠から奥神賀山へ松  
尾越峠から鉢ヶ森への登  
山道として、四季折々の



美しい風景を楽しむこと  
ができる本町の貴重な観  
光資源である。この長期  
通行止めは林業、観光振  
興両面に弊害をもたらし  
ており、早急に維持修繕  
を行い通行可能にするべ  
きであるが。

岩崎憲郎町長

現在、町が維持管理す  
る町道等が、約50キロ  
メートルある中で住民に  
最も身近な社会資本の整  
備を基本として検討す  
る。

一般質問  
民泊の進ちよく状況は

**問** 受け入れは可能か  
**答** 30軒の確保を目指している

三谷幸一郎議員  
平成27年度から農家等  
民泊事業をスタートする  
べく準備をしているが、  
受け入れは可能か。

岩崎憲郎町長  
現在の受け入れ可能農  
家等は20軒である。修学  
旅行等の受け入れは最低  
でも30軒必要であり、精  
力的に取り組んでいる。

一般質問  
ラフティングのアップ  
ローチ道路の確保を

**問** ラフティングボート搬入・搬出  
のアップローチ道路の確保を  
**答** 地域のコミュニティーの中で検討

三谷幸一郎議員

近年修学旅行で吉野川  
でのラフティングに多く  
の生徒が訪れ、少しでも  
町内にお金が落ちるよう  
事業を進めている。しか  
し、ラフティング業者が  
ボートの搬入、搬出がで  
きなく困惑している。今  
後もこのような状況が続  
けば修学旅行生の受け入  
れ、更には農家民泊事業

にも影響してくる。町の  
責任においてアップローチ  
道路の確保を。

岩崎憲郎町長

吉野川は全国でも屈指  
のロケーションで、修学  
旅行生も増加していると  
聞いている。アップローチ  
道路については、地域コ  
ミュニティーの中で検討  
する必要がある。



ラフティング（吉野川）

一般質問  
総合ふれあいセンター  
クアハウス利活用

**問** 閉鎖後の利活用はどのようにす  
るのか  
**答** クアハウスの活用は考えていない

三谷幸一郎議員

今年3月をもって業務  
を終了するクアハウス

は、業務終了に反対する  
町民も多く残念に思う。  
業務終了後の利活用をど

のように考えているの  
か。また民間等から活用  
したいという問い合わせ  
があったか。

岩崎憲郎町長

クアハウスの活用は考  
えていない。現時点で民  
間等から活用したいとい  
う問い合わせはない。

一般質問  
携帯電話不感地域の  
解消を

**問** 本町全地域で携帯電話による見  
守りネットワークのサービスを受  
けられる対策を  
**答** 不感地区の解消に向けて今後と  
も努力する

三谷幸一郎議員

現在au、ドコモ携帯  
電話による見守りネット  
ワーク事業を行っている  
が、町内にはいまだに携  
帯電話の不感地区があ  
る。不感地区は何地区あ  
るのか。

またソフトバンクのみ  
使用可能な地区がある  
が、見守りサービスは受  
けられない。この地域の  
高齢者から同じ町内で居  
住しているにも関わらず  
格差があり、不公平であ  
るという声を聞くが、住  
み慣れた地域で安全で安

心して暮らせる特段の配  
慮を。

岩崎憲郎町長

町内で携帯電話の不感  
地区は6箇所である。こ  
の解消について各社に要  
望もしてきたし、今後も  
努力をする。

一般質問  
大規模広域的災害へ  
の対応

**問** 想定される大規模災害に備え、  
他県市町村と協定の締結をして  
いるか  
**答** 20件締結している

三谷幸一郎議員

現在、想定される大規  
模災害に備え、中四国9  
県で相互に支援し合うカ  
ウンターパートナー制を締結  
している。高知県は山口  
県、島根県と締結してい  
るが、本町も他県の市町  
村と締結しているか。

岩崎憲郎町長

災害応急対策活動の相  
互応援に関する協定等20  
件締結している。

一般質問  
教育委員会制度の改革

**問** 教育委員会制度の改革について  
の見解は  
**答** 今後とも議論を注視していく



渡辺則夫 議員

現在教育委員会制度改

革について議論されてい  
るが、特に教育委員長、  
教育長、町長の権限につ  
いて様々な意見が聞かれ  
るが三者の見解は。



松高俊二  
教育委員長

現教育委員会制度は施  
行から半世紀を超えてい  
る。中央教育審議会で教  
育の政治的中立性、継続  
性、安全性の確保等も考  
慮し、更には現制度の実  
績を検証し議論をしてほ  
しいと考えているが、今  
後とも注視していく。



吉松英喜  
教育長

首相の私的諮問機関で  
ある教育再生実行会議で  
の議論として、大津市にお  
けるいじめ問題に端を発  
し、権限と責任の所在が  
不明確、迅速な機動性に  
欠ける等の課題があるとい  
う指摘を踏まえ、教育  
委員会制度改革について  
中央教育審議会に対し文  
科省から「今後の地方教

育行政の在り方について」  
諮問をし、平成25年12月  
13日に答申が出ている。地  
方教育行政の組織及び運  
営に関する法律の改正に  
ついては、いまだ至ってい  
ない。今後、法改正等につ  
いて経過を注意深く見守  
る必要がある。現制度変  
更については、様々な意見  
があることも承知してお  
り、県内の町村教育長会  
でも研修、議論をし教育  
再生実行会議有識者委員  
の尾崎県知事を県町村教  
育長会として、お招きし  
て意見も拝聴したいと考  
えており、今後どのよう  
に改革するのが非常に注  
目するところである。

岩崎憲郎町長

教育行政は時代の趨勢  
に対応することが必要で  
ある。政治的中立性が大き  
く損なわれるとは考えて  
いない。今後とも教育の機  
会均等、教育水準の維持  
向上、地域の実情に応じた  
教育の振興が図られるよ  
う国と相互協力の下、公  
正かつ適正に行わなけれ  
ばならないと考えている。